



アグピー号だより vol.14

「アグピー号利用者の声」にお答えします

阿久比町循環バス「アグピー号」をご利用いただき、ありがとうございます。皆さんから寄せられた意見（「利用者の声」）にお答えします。

窓に日差しをよけるカーテンを付けて欲しいです。

→アグピー号は日差しを遮るガラスのため、カーテンは付けていません。車内清掃を簡略化し、運行コストを抑えるためです。ご理解をお願いします。**どんな時間でもちょくちょく積み残しがあるためなんとかしてくれ!!**

→最近、午前中のオレンジラインで積み残しが増えており、ご不便をお掛けしています。比較的空いている午後の便をご利用ください。

バスの案内板の向きを統一してほしいです。

→バス停標識は原則バスが来る方向を向いています。が、歩道が狭い場合やバスの待機場所が反対側にある場合には、方向を変えています。

バス停を幼稚園が送迎時に停留所として利用しているのが気になります。

→該当する私立幼稚園にバス停から少し離れた場所で幼稚園バスを待つようお願いしました。今後はそのように対応してもらえることになりました。

優先席と言っておきながら大人の人を乗せるんですね!

→1番前の出入口に近い席を、障がいのある方、妊婦、乳幼児連れ、お年寄りなどの優先席としています。ご協力をお願いします。



飲食ダメと言われても・・・熱中症になるかもしれない。OKにしてください。

→車内で飲み物をこぼすと、後から乗る方の迷惑となります。狭い車内ですのでご理解ください。どうしても飲みたいときは運転手に声を掛けてください。

シートベルトをしていない人が多い。運転手さんがシートベルトの着用について注意喚起すべきではないか。

→運転手の負担が大きいため自動音声による注意喚起としています。今後の対策については運行事業者と協議を進めていきます。

他にも多くの意見をいただいています。すぐに対応することが難しい内容もありますが、すべての意見を運行連絡会議の委員や運行事業者と共有し、改善に努めていきます。これからも「アグピー号」の運行にご理解とご協力をお願いします。

■ 問い合わせ先 防災交通課交通係 ☎(48)1111 (内277)

子どもと本を読もう! ㊟ 「阿久比町子ども読書活動推進計画」

「子どもと本を読もう!」では、阿久比町子ども読書活動推進計画の取組みと図書館員お薦めの本を紹介していきます。

町立図書館では、毎週土曜日(午後2時30分～)、日曜日・祝日(午前11時～、午後2時30分～)にはおはなし会を開催しています。読み聞かせボランティア「ぶんぶん」の方たちやおはなし会ボランティアに応募した阿久比中の生徒たちが絵本や紙芝居を読んでもくれます。ぜひ聞きに来てください。



おはなし会の様子

☆図書館員のつぶやき☆

読書の秋です。今年の読書週間は10月27日～11月9日。合言葉(標語)は「いつだって、読書日和」

■ 問い合わせ先 町立図書館 ☎(48)6231

10月におすすめの本

『ネコの目からのぞいたら』
シルヴァーナ・ガンドルフィ 作
関口 英子 訳

少年ダンテが目を閉じると、子ネコの見ている景色が見えた。ドレンテ先生の発明した「遠隔テレパシー」は本当だったんだ。ところが、ダンテはとんでもない事件を目撃してしまう。

(小学校高学年向け)



『ジャガーとのやくそく』
アラン・ラビノヴィッツ 作
カティア・チエン 絵

美馬 しょうこ 訳

野生動物の保護を訴える動物研究家、アラン・ラビノヴィッツの初めての絵本。子どものときからかかっていた吃音による悩みや努力、そして、動物たちへの愛を伝えるノンフィクションストーリー。(幼児向け)

